



東北大学

平成24年1月11日

報道機関 各位

東 北 大 学

## 平成24年度東北大学新規予算（内示）について

平成24年度における東北大学新規予算（内示）の主要事項について、お知らせいたします。

### （東北大学新規予算（内示）主要事項）

- 東日本大震災の被害実態と教訓に基づく実践的防災学の国際研究拠点形成事業  
－低頻度巨大災害対策・危機対応のパラダイムシフトへの先導的取り組み－

戦後以来はじめて我が国が直面している低頻度巨大災害である東日本大震災の実態と教訓を明らかにし、我が国の復興への具体的貢献と未来の巨大災害への備えを先導するため、新たに設置する災害科学国際研究所（仮称）を研究拠点として、実践的な研究を推進し、研究成果を社会に実装していくための取り組みの推進を目指す。

〔担当〕 東北アジア研究センター教授、東北大学防災科学研究拠点代表、  
災害科学国際研究所設置準備委員会委員長

平川新 電話：022-795-7693

- 地域産業復興支援事業

－震災復興に向けた東北地域産業の調査研究と革新的プロデューサーの育成－

東日本大震災により東北地域を襲った未曾有の危機を乗り越えるため、甚大なダメージを被った被災地の地域産業を対象に、地域産業復興調査研究プロジェクトの推進や地域産業復興プロデューサーの育成等、中長期的な地域産業復興事業の推進を目指す。

〔担当〕 経済学研究科教授、地域イノベーション研究センター長

藤本雅彦 電話：022-217-6265

- 放射性物質によって汚染された生活環境の復旧技術の開発

福島第一原子力発電所事故からの放射性物質で汚染された生活環境を復旧するために、新たな除染技術、除染で得られた放射性物質の有効利用技術、無放射性セシウム農作物の栽培技術、迅速汚染検査用検出器の開発を目指す。

〔担当〕 工学研究科教授

石井慶造 電話：022-795-7933

- 被災動物の包括的線量評価事業

福島第一原子力発電所事故の影響により殺処分される家畜や野生動物の臓器を摘出してバンク化し、各臓器と周囲の水土壤などへの沈着核種の同定と放射能を計測することによって、放射性物質が環境媒体を通じて、生体のどの臓器にどれだけ沈着しているかを評価し、生物影響研究の基盤を提供することを目指す。

〔担当〕 加齢医学研究所教授

福本学 電話：022-717-8507

○ **生物－非生物インテリジェント・インターフェイスの創成**

生体の恒常性・健康維持のため、歯学・生物学、材料学、医工学的評価・制御技術の連携により、生物－非生物インターフェイスの学理を解明し、その制御を可能とするインテリジェント・インターフェイス科学を確立し、診断治療技術の開発を目指す。

〔担当〕 歯学部・歯学研究科事務長補佐  
田口睦夫 電話：022-717-8243

○ **災害科学国際研究所（仮称）の創設**

我が国の復興への具体的貢献と未来の巨大災害への備えを先導するための国際的研究拠点として災害科学国際研究所（仮称）を創設し、災害科学に関する世界最先端の学際研究を、国内外の有力研究機関とネットワークを形成し展開する。

このことにより、次の巨大災害に向けた国策としての対策・対応の再構築、世界の巨大災害の防災・減災技術の標準化を行うための先導的役割を果たすとともに、震災からの速やかかつ創造的な復興に大きく貢献することを目指す。

〔担当〕 東北アジア研究センター教授、東北大学防災科学研究拠点代表、  
災害科学国際研究所設置準備委員会委員長  
平川新 電話：022-795-7693

○ **医学部医学科の入学定員の改訂**

地域の医師確保等に早急に対応するため、宮城県との連携により、指導的高度専門職業人として地域医療に貢献できる人材を養成し、地域における医師不足の解消、地域医療の改善・充実を図る。

〔担当〕 医学系研究科教授 柴原茂樹 電話：022-717-8113

【本件全体に関する問合せ先】

東北大学財務部財務課主計第一係

電話 022-217-4882、4875